



梶中学校だより

令和5年 2月24日

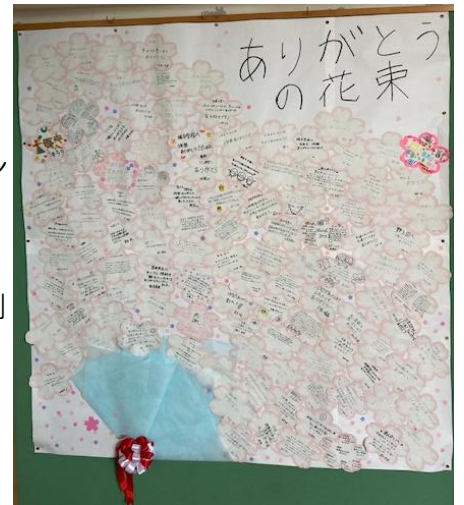
住所：梶町4-28-5

電話：06-6902-0813

中学校生活3年間の感謝の気持ちを込めて

中央階段2回の廊下の踊り場に掲示しています。『ありがとうの花束』として、第53期生の卒業生たちが思い思いに感謝の気持ちを込めた言葉を綴っています。写真では分からないと思いますので、一部を紹介いたします。「先生方へ 3年間いつも支えてくれてありがとうございました」「今までみんなありがとう」「梶中学校へ 3年間ありがとうございました」「友達へ 全ての出会いに感謝」「関わってくれた全ての人に感謝」「みんなへ 私に素敵な思い出をくれてありがとう」などです。特別に名前を指定しての感謝の言葉も多くありましたし、用紙にめいっばい沢山記載している生徒もいました。

人は、一人では生きていけないものです。多くの人たちと関わりを持ちながら支えあって生きていくものだと思います。義務教育を修了するとアルバイトなどの仕事を経験する生徒もいるかもしれません。今まで生きてきた社会とは異なった社会が待ち構えています。18歳になれば、制限はあるものの「成人」として扱われることが多くなり、自己の責任も重たくなります。これからも色々な人たちに感謝の気持ちを持ちながら生活していってくれることに期待をしています。



いのちの学習としての講演を聞きました！

全ての学年で3学期には「いのちの学習」として性教育を実施していますが、3年生は、22日の6時間目にいのちの学習のまとめとして、元本校学校薬剤師であり、現在は、「興和株式会社医薬事業部管理薬剤師」として活躍されておられる「玉嶋みき」様を講師として招聘し、「性感染症ってなあに？」という題目でご講演をい



ただきました。性感染症を防ぐためには「正しい知識」と「予防の仕方」を知ることが大切であり、新型コロナウイルス感染症の感染方法を例にしなが、性感染症は「知らない間に広がっている」「自分を守ることが出来るのは自分だけである」として感染経路や防ぎ方などを生徒たちに質問をしながら教えてくださいました。生徒たちも、しっかりと考えてくれていたと思います。玉嶋先生は、最後のまとめとして『しあわせに生きるために今出来ること』として①「知る事」②「自分を大切にすること」③「大切な人を大切にできる事」④「人とつながる事」とされていました。

難しい内容もあったとは思いますが、義務教育を修了する3年生にとっては、知っておくべき内容だったと感じています。

ネイティブな英語を学んでいます

ご報告が遅くなりましたが、3学期になり、Tuttle Terry (タトル テリー) 先生が、AETとして赴任されました。1クラス当たりの時間は少ないですが、全てのクラスで英語を教えていただいています。2学期は配置されていませんでしたので、生徒たちは、楽しく英語を学んでいます。



グラウンド工事の半分が終了しました。約3センチ砂を上積みする予定とは聞いていましたが、確かに高くなっています。